

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和7年第43週(10月20日～10月26日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内 (平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	41週	42週	43週	43週	43週
インフルエンザ	1.33	4.00	▲11.00	2.24	6.29
新型コロナウイルス感染症	7.33	2.67	2.33	1.39	2.25
RSウイルス感染症	1.50	1.50	1.50	1.35	1.24
咽頭結膜熱	●4.50	●3.00	●6.50	0.84	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	0.50	0.50	1.48	1.89
感染性胃腸炎	4.50	2.00	0.50	2.68	3.58
水痘	0.50	0	0.50	0.10	0.20
手足口病	0.50	0	0.50	0.16	0.21
伝染性紅斑	●5.50	●2.00	●2.00	1.90	0.75
突発性発疹	0	0.50	0	0.16	0.25
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0.26
流行性耳下腺炎	0	0	0	0.06	0.03
急性出血性結膜炎				0.13	0.02
流行性角結膜炎				2.13	0.96
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.01
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.42	0.06
マイコプラズマ肺炎	0	1.00	0	1.33	1.35
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0.01

急性呼吸器感染症 (ARI)	45.00	35.33	43.00	56.69	63.74
----------------	-------	-------	-------	-------	-------

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】 インフルエンザを予防しましょう。 長崎県の第43週の報告数は114人で、定点当たりの報告数は2.24となりました。地区別にみると、県北地区(11.00)は、注意報レベルの報告数となっています。 インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。1日から3日間の潜伏期間のあとに38度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて、鼻汁などの上気道炎症が起こり、約1週間で軽快するのが典型的な症状です。 今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、流行に備えて、ワクチンを接種しましょう。
【トピックス】 マダニやツツガムシが媒介する感染症に注意しましょう。 マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、野生動物が出没する環境に多く生息しているほか、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。マダニ類は「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」を媒介し、ツツガムシ類は「つつが虫病」を媒介します。 長崎県では、2025年第43週には、SFTS1件、日本紅斑熱2件が報告されています。 過去5年の県内の発生状況を見ると、10月に日本紅斑熱、11月につつが虫病的報告が最も多くなっています。ダニ等が媒介する感染症の予防には、ダニに咬まれないことが重要です。野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避け、マダニに有効な虫よけ剤を使用して感染防止に心がけましょう。もし、マダニ等に咬まれていたことに気づいた場合、無理に取り除こうとせず、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。また、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。受診した医療機関では、咬まれた状況などができるだけ詳細に説明しましょう。
【トピックス】 11月は「長崎県感染症対策強化月間」です。 長崎県は、県民の感染症対策に対する理解・協力を促進するため、今年度から11月を「長崎県感染症対策強化月間」と設定しました。「感染症」とは、病気を引き起こす小さな生物(病原体)が体に侵入して症状が出る病気のことです。病原体は細菌、ウイルス、真菌、寄生虫などに分類されます。病原体の性質により、接触感染、空気感染、飛沫感染などの感染経路があります。 いずれの感染症においても、手洗い、換気、マスク着用等の咳エチケットといった基本的な感染症対策が有効です。加えて、一部の感染症においては、発症や重症化に一定程度予防効果のあるワクチンもあります。正しい知識を身につけて、感染対策を心がけましょう。また、新しい感染症の流行に備えて、日頃から準備をしておきましょう。 ☆感染症流行への備え(内閣感染症危機管理統括庁ページより抜粋) ・食料品や衛生用品(マスク、手指消毒剤など)、生活必需品を少し多めに準備しておく ・家庭で、学校、保育園等の休業への対応を事前に話し合っておく ・職場で、日頃からオンライン会議やテレワークの準備をしておく
長崎県県北保健所 地域保健課 健康対策班 TEL 0950-57-3933